



# 宇土市ファミサポ通信 No.30

## R7.5 月発行

令和7年度がスタートして1か月が過ぎました。おかげ様で宇土市ファミリーサポートセンターは本年度で17年目を迎えます。日頃よりご理解とご協力に感謝を申し上げます。コロナ禍での窮屈な生活から解放されて2年が過ぎ、昨年度は400件近くの活動が行われ、たくさんのご家族と可愛いお子さんとの出会いがありました。今年度はどんな素敵な出会いがあるのかなあとワクワクしています。皆様、どうぞ1年間よろしくお願いいたします。

さて日々の子育てはとても大変ですが、子育ての悩みを話せる場所やお子さんをちょっと預けられる場所があるだけでも気持ちが楽になりますよね。宇土市のファミリーサポートセンターは子育てを地域の人々で支えようと開設したものです。生後3か月～小学校3年生までのお子さんのお預かりや、保育園や幼稚園までの送迎等の活動を行っています。ご利用の際は、ファミリーサポートセンターまでご相談ください。

また、宇土市には「こども家庭センター」が設置されています。これから出産を控えている方々が宇土市でお子さんを育てたい、子育て中の方々が、宇土市で子育てができて良かったと思えるように、ファミリーサポートセンターとしても一緒にできることを考えていきたいと思っています。



### ❀宇土市こども家庭センターの紹介❀

令和6年4月に宇土市役所庁舎内に開設しています。

妊娠のこと、出産のこと、子育てのことなど、不安やお困りがありましたら「こども家庭センター」へご相談ください。

保健師や看護師が安心して出産・育児ができるよう、お手伝いをします。



問い合わせ  
宇土市こども家庭センター  
☎ 0964-27-3322



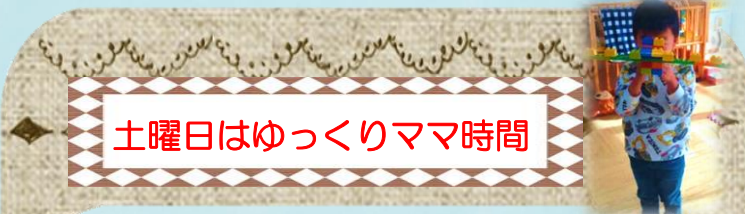


## こんなすてきな活動がありました



### ママとの特別な時間

第3子を出産して1年が過ぎた頃、「僕はひとりで寂しい…」とつぶやいた長男。お母さんは「3人同じように可愛がっているのになぁ」とファミリーサポートに相談に来られました。話を聞き「お兄ちゃんと2人だけの時間を過ごしませんか？」と提案し、下の弟の預かり活動を行いました。活動終了後、お兄ちゃんとお母さんの満面の笑顔に協力会員さんとアドバイザーも嬉しくなりました。お兄ちゃんは優しく、いつも妹や弟を可愛がってくれていますが、お母さんに甘えたいのをぐっと我慢していたのでしょね。お母さんは「次は娘や夫の時間もお願いしたいなぁ」とおっしゃっていました。お母さんの悩みも解消され、ほっこりする活動になりました。



### 土曜日はゆっくりママ時間

お母さんがリフレッシュを兼ねて、ゆっくりショッピングを楽しむための預かりです。兄弟を2人の協力会員さんがたくさん遊んでくださりました。ブロック作りが得意なお兄ちゃん。ブロックを次から次へと作るたびに、協力会員さんがたくさんほめてくださったので、とても嬉しそうでした。弟は片言の言葉で協力会員さんとたくさんおしゃべりをして笑い声がたえない活動になりました。お迎えに来られたお母さんに協力会員さんから子どもさんの素敵なお話をたくさん話してもらい、「たくさん子どもを褒めてもらって、ありがとうございます」とお母さんも嬉しそうでした。協力会員さんの優しさに触れた活動でした。



### 初めての利用をご検討の方へ

事前に会員登録が必要です。その後、利用前には協力会員との打ち合わせが必要になります。依頼をお考えの際は、早めの会員登録をお勧めします。

### 依頼会員さんへのお願い

ファミリーサポートセンターは協力会員と依頼会員の相互援助活動で成り立っています。協力会員さんは、仕事をされている方、また現役を終え社会に貢献したいと余暇の合間に活動を引き受けて下さっている方など様々です。

活動依頼は、できるだけ早めに（原則1週間前まで）にお願いいたします。



### 問い合わせ

宇土市ファミリーサポートセンター

☎ 0964-22-1111（内線818）